

2022年1月6日  
一般社団法人 日本船主協会

## パナマ運河庁長官と当協会会長のオンライン対話について

当協会は2017年11月以降、パナマ運河庁（ACP）と定期対話を行っており、前回は2019年11月に東京で開催しております。

その後、コロナ禍の拡大により対面の対話開催が困難な状況が続いていることを踏まえ、2022年1月5日にオンライン対話にてACPバスケス長官と当協会会長池田潤一郎他が意見交換を行いました。その概要は以下の通りです。

### 【オンライン対話概要】

日 時：2022年1月5日(水) 7:45～8:30

場 所：Web（Microsoft Teams）

参加者：（詳細は添付参照）

【ACP】バスケス長官、マロッタ副長官他計4名（その他職員数名陪席）

【当協会】池田会長、友田副会長、森重理事長、白鳥国際幹事長(川崎汽船)他計6名  
（その他船協事務局も陪席）

※在京パナマ大使館ペレ大使他同席

池田会長から、当協会のパナマ運河通航に関する最優先事項は安全性、効率性、安定性であるとして、コロナ禍にもかかわらず安全・安定的な通航環境確保に努めたACPの尽力に謝意を表した上、通航効率の改善等、運河混雑緩和に向けたACPの一層の取り組みを期待するとともに、2022年中の実施が見込まれる新通航料金体系に関し、ユーザーの声を十分踏まえたものとなるよう要請した。

これに加え、友田副会長から、新料金体系に関し、当協会要望を反映して前広な周知に努めるACPの姿勢を評価する一方、料金の安定性・予測可能性を損なうような急激な改定は避けるべきであり、水源対策・環境対策等で必要とされるACPの投資費用回収に際しては運河ユーザーのみならず、裨益者であるパナマ国民とも適切な負担の共有がなされるよう、配慮を求めた。

こうした指摘に対し、バスケス長官からは、新料金体系および新たな環境対策に関しては、当協会をはじめとする運河ユーザーと十分協議を重ねたいとのコメントがなされるとともに、料金水準変更に関しては、急激な変化を避け、長期的な値上げを考えているとのコメントがあった。また、混雑問題に関しては、現在ACPで対応を検討している旨説明。パナマ運河は今後とも、環境に優しい貿易ルートとしてその価値を発揮したい旨表明があった。

最後に当協会・ACP とともに、引き続きペレ大使の協力も得つつ、一層のコミュニケーションの円滑化と対話促進を図ることで合意し、友好裡に会合を終了した。



オンライン対話の様子

**THE MEETING BETWEEN THE PANAMA CANAL AUTHORITY  
AND THE JAPANESE SHIPOWNERS' ASSOCIATION**

Wednesday 5 January 2022

7:45hrs. – 8:30hrs. (JST)

Online (Teams)

Attendance

**Panama Canal Authority:**

- Dr Ricaurte Vásquez Morales Administrator
- Ms Ilya de Marotta Deputy Administrator and Vice President for Operations
- Ms Marianela Dengo de de Obaldía Vice President for Communications and Corporate Image
- Mr Andrés Orozco Business Intelligence Advisor

**Embassy of the Republic of Panama in Japan:**

- H.E. Mr Carlos A. Pere Ambassador of the Republic of Panama to Japan
- Mr Samuel Guevara Chief of Segumar Tokyo, General Directorate of Merchant Marine, Panama Maritime Authority

**Japanese Shipowners' Association:**

- Mr Junichiro Ikeda President  
(Chairman, Mitsui O.S.K. Lines, Ltd.)
- Mr Keiji Tomoda Vice President
- Mr Toshiya Morishige Director General
- Mr Takahisa Shiratori Chairman of International Sub-Committee, JSA  
(Project Manager, Corporate Planning Group,  
Kawasaki Kisen Kaisha, Ltd.)
- Mr Yoshinari Goto Member of International Sub-Committee, JSA  
(Deputy General Manager, Corporate Planning Group,  
Nippon Yusen Kabushiki Kaisha)
- Mr Daisuke Fujihashi Member of International Sub-Committee, JSA and  
Secretary to JSA President  
(Project Manager, Corporate Planning Division,  
Mitsui O.S.K. Lines, Ltd.)

-----